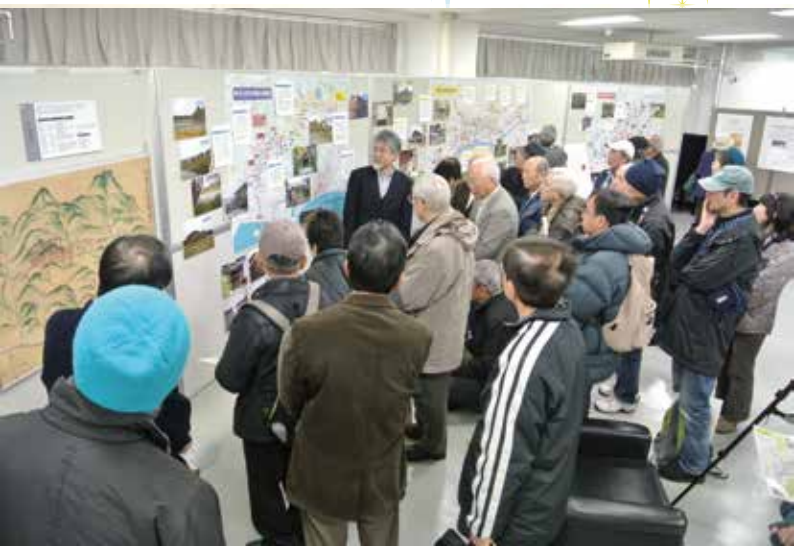


MINI MINNIES



平成26年度鉱業博物館特別展

道が支えた阿仁鉱山 一米の道、炭の道、銅の道

期間：平成27年3月3日（火）～4月19日（日）
場所：鉱業博物館 2階 特別展示室
時間：9：00～16：00
※入館料のみでご覧いただけます



道が支えた阿仁鉱山 一米の道、炭の道、銅の道

ギャラリートーク イベントレポート

阿仁の栄枯盛衰と
道で語らう

平成26年度鉱業博物館特別展「道が支えた阿仁鉱山一米の道、炭の道、銅の道」のギャラリートークが、平成27年3月3日（火）13時30分から行われました。今井忠男国際資源学部教授が案内人になり、展示について解説しました。

この展示は阿仁地域の産業活動を支えた輸送路に焦点を置き、阿仁の盛衰を探る企画です。江戸時代前半に金山が発見された戸前山に沸いた時代から、銅の時代を経て、明治期から近代化による変貌など、時系列に沿って阿仁の歴史に触れることができます。

今井教授は展示している長大な3枚の地図にわかりやすく現在の写真や説明を加えた巨大パネル、阿仁の歴史を記した年表、

本特別展は4月19日（日）まで開催しております。春休みこの季節、ぜひ鉱業博物館に

阿仁の歴史を堪能しにきませんか。

阿仁の歴史を堪能しにきませんか。

鉱山が繁栄していた当時描かれた鉱山とその地域の詳細な絵地図を用いて、「阿仁鉱山には粗銅を阿仁から能代湊に運ぶ流れのほか、鉱山で働く人々の食べる米の流れ、銅の製錬に必要な炭の流があった」と述べ、過去から現在に至るまでの阿仁の栄枯盛衰を解説しました。

ギャラリートークは60名以上の方々に越しいただきました。大変多くの聴講者になっていただきました。急遽後半30分ずつ2回に分かれての講演となりました。少し駆け足となりましたが、聴講された方々は興味深そうに質問をしたり、何度か印象的でした。



©Yamamoto Family

平成27年度第1回鉱業博物館企画展

(仮) 山本作兵衛氏 炭鉱画公開展示会

期間：平成27年4月下旬から6月中旬まで
(日程詳細は次回ミニミニマイズでお知らせします)
場所：鉱業博物館 特別展示室
時間：9：00～16：00
※入館料のみでご覧いただけます

山本作兵衛氏炭鉱画
四月下旬
展示決定!!



©Yamamoto Family

平成26年12月、鉱業博物館に山本作兵衛氏が描かれた炭鉱記録画が寄贈されました。その炭鉱記録画の展示について、平成27年4月下旬に皆様にご覧いただけるよう、特別展を開催することが決定いたしました。

山本作兵衛氏は、自らの炭鉱労働者として働いていた様子を1,000枚を超える絵画に書き記した炭鉱記録画家です。山本氏が描いた炭鉱記録画や日記などが、「アンネの日記」などが登録されている「ユネスコ世界記憶遺産」に2011年、日本で初めて登録されました。今回寄贈される絵画は、世界記憶遺産として登録されたものではありませんが、山本氏が残された大変貴重な炭鉱記録画のうちの2枚です。詳細は来月のミニミニマイズをご覧ください。



鉱業博物館

来年度の無料開放日予定



- ① 科学技術週間
4月18日(土), 19日(日)
- ② 地質の日
5月10日(日)
- ③ 国際博物館の日
5月18日(月)
- ④ 国際資源学部オープンキャンパス
8月1日(土), 2日(日)
- ⑤ 秋田大学祭
詳細未定
- ⑥ 教育文化週間・文化の日
11月1日(日) ~
3日(火・祝日)

皆様のご来館をお待ちしています!

活動内容

見学者への案内と説明、見学サポート、館内整備等のサポートなど

活動期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日までの一年間

募集対象

高校生以上の方であれば、どなたでもご参加いただけます

募集期間

平成27年 2月 2日(月) ~ 3月31日(火)

鉱業博物館ではサイエンスボランティアを募集しています!サイエンスボランティアは博物館の様々な活動に参加し、その運営をサポートします。活動内容には、豊富な知識を生かした展示案内や、団体見学時の誘導、子ども向けイベントの補助のほか、工作や情報分野の専門的な作業などがあります。

高校生以上の方であれば性別・職業を問わずどなたでも参加できます。博物館が好きで何かに関わってみたい方、人と接する活動がしたい方、木工や電気、手先の器用さなど特技を活かしたい、社会貢献活動がしたい方のご応募を歓迎しております。ボランティア活動のサポート体制も充実しています。鉱業博物館に関わりのある秋田大学教員・研究員が博物館や標本のことをわかりやすく解説する講習会や、関連施設や野外に出かけての研修会などを開催しています。得意な分野で、できる範囲で、活動してみませんか?お気軽にお問い合わせください。

を募集しています!

鉱業博物館サイエンスボランティア

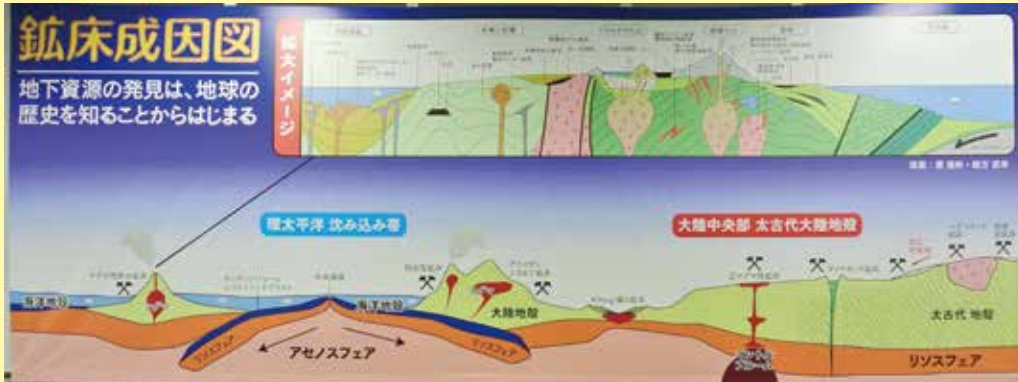
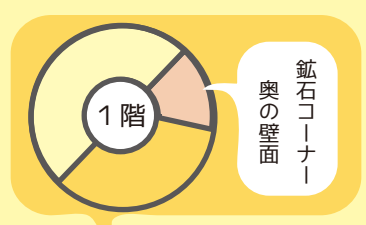


表: 主な鉱床の種類

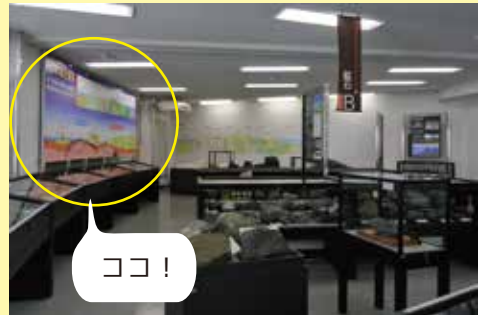
1階鉱石コーナーに展示中の鉱床成因図

火成鉱床	マグマが地下でゆっくり冷えて固まる際に、各元素が分離・濃集してできた鉱床。	正マグマ鉱床(クロムやニッケルなど)、ペグマタイト鉱床(レアアースなど)、カーボナタイト鉱床(レアアースなど)など
熱水鉱床	高温のマグマから出された高温の水または高温のマグマ付近に存在して熱せられた地下水が、マグマや岩石の成分を溶解して運搬し、それが冷えて析出した鉱床。	熱水鉱脈鉱床(銅、亜鉛など)、鉱染鉱床(銅、金など)、火山性塊状硫化物鉱床、黒鉱鉱床、スカルン鉱床など
堆積鉱床	地上の岩石が風化して風や水(河川)により運ばれ、堆積した鉱床。	風化残留鉱床(ポーキサイトなど)、堆積性ウラン鉱床(ウランなど)、縞状鉄鉱層(鉄など)、石油鉱床など
変成鉱床	岩石が主に熱と圧力の変成作用でできた鉱床。	スカルン鉱床(鉄、鉛など)、キースラガー鉱床(銅・亜鉛)など

— 鉱床成因図 —



標本紹介



ココ!

※火成鉱床であるペグマタイト鉱床、変成鉱床であるスカルン鉱床、キースラガー鉱床、堆積鉱床である縞状鉄鉱層・堆積性ウラン鉱床などの形成には熱水も関与していることがあります。

私たちに有用な“資源”となる物質を多く含む岩石を鉱石と呼び、鉱石が集まった場所を鉱床と呼びます。鉱床成因図は、どんな鉱床がどのようにできたのか、どの様な場所にできるのかなどをわかりやすく図説した展示です。鉱床の種類は大まかに4種類に分類されます。(表参照)
鉱床の成因を知ることにより、どこに鉱床ができやすいか、

どんな鉱石が生まれやすいかがわかります。鉱床タイプを知るということは、鉱石の分布を正確に予測することに繋がり、最適な資源の探査や採掘の方法を選択することに役立ちます。
鉱床成因図は1階鉱石コーナーに展示しています。お越しの際はぜひご覧ください。